



発行元・編集：山本辰哉 E-mail：mttatsu1@gmail.com

URL：tatsuya-yamamoto.net

岩国市議会議員の山本辰哉です。

6月議会の一般質問を基にご報告させていただきます。

今回は「通津沖工業団地の渋滞緩和措置」や「飼い主のいない猫の助成事業から一年経過した実績と今後の改善点」について市の見解を伺いました。

是非ご一読ください。

質問と答弁

☆「通津沖工業団地の交通インフラ」について（道路課）

通津沖工業団地の早急な渋滞緩和措置を求める

まずは渋滞緩和につながる市道整備を早急に実施する

Q 本工業団地では、9月から新たに防衛装備庁艦艇装備研究所の試験評価施設が運用開始予定となっているが、この施設の完成で本工業団地はほぼ埋まった状態と言える。一方で交通インフラの観点ではかなり脆弱であり、特に通勤時は想像を絶する渋滞を引き起こしている。出入口を由宇側に設ければ大きく解消する話だが、現状厳しいとの答弁である。しかしながら行政として、さすがにこの状態を放置する事は無いであろうと私は思っている。直ちにこの渋滞を緩和する即効性のある改善を求める。

A この市道には右折レーンはあるが短い。右折する車が多いと右折レーンを超えて渋滞する。それにより左折して柳井方面に向かう車両も渋滞に巻き込まれて、渋滞長に拍車がかかることが原因と考える。右折レーンを今より延長して、柳井方面へ向かう車両を出易くする市道整備を早急に行う。また、国道188号との交差点内に市道から合流し易くなる対策を、国等に依頼する。

☆「猫の助成事業一年の実績と事業内容の見直し」について（環境保全課）

・耳カット（さくら耳）の必要性について

手術後の耳カットを必須にする必要があるのか？

室内飼育が前提なので必須から奨励に緩和する

Q 現在の制度に則れば、手術後に耳カットをすることが必須となっている。確かに間違えて2回おなかを開くという行為を避けるために、全国で普及していることは承知している。ただ本市の制度では、室内での飼育が条件となっているので、必須にするのもいかがなものかと思うがどうお考えか？

A 自己所有も譲渡も原則室内飼いとするよう求めているが、耳カットは逃走して再度開腹されることが万に一つもないようにと規定していたもの。外見上不妊・去勢手術済みであるかを判断することは、獣医師でも難しい場合があると伺っているが、リスクの確率等を勘案し、今年度より必須から奨励に緩和することとした。

・子猫の手術対応について

手術が困難な子猫については捕獲した後、先行予約的な対応は出来ないか？

子猫に関しては手術が可能になるまで猶予期間を設けることとした

Q ターゲットの猫を保護・捕獲するとき、子猫のうちには非常に捕まえ易い反面、ある程度月日が経った猫でなければ手術は難しいと聞いている。獣医師も概ね3kgが目安だと言われている。例えば、すぐに手術が出来ないような、このような目安に満たない猫についてもある程度は先行予約のような形で制度に含めてもいいのではないか？

A 保護・捕獲後に、不妊去勢手術をただちに行うことが困難と見込まれる幼い猫の取り扱いについて、申請年度内に手術が行える見込みである子猫に関しては、申請を受け付けることとした。早くに親から離すことが望ましくないことや、幼い猫には手術の負担が重いことなどにより規定した。また、幼い猫でなければ保護・捕獲が困難との意見により修正するものだが、将来は人なれしていない猫であっても、安全に保護・捕獲できる方が現れることを助成の目的としているが、岩国の現状から直ちにこれを求めるのは難しいと判断した。

徒然記

現在世の中はSDGsを基に動いていると言っても過言ではありません。17の開発目標を今一度考え、自らが行動できる持続可能な目標を掲げ、誰一人取り残されることがない世の中を目指していきましょう。

☆心の川柳 この星の 自然と生命 大切に！

